

卒業おめでとう！！

今月号は、その1とその2の2部を配付いたします。来年度も、頑張って発行しますので、よろしく願いいたします。

校長式辞

日ごとに暖かさを増し、春の足音が感ぜられる今日の佳き日に、兵庫県立北条高等学校定時制課程第六〇回卒業証書授与式を挙行できますことは、生徒、職員一同この上ない喜びであります。

ただ今、三修制での卒業生2名を加えて12名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。このめでたい席に、平素から本校の教育に深いご理解とご支援ご協力をお寄せいただいております多くのご来賓、ならびに保護者の皆様のご臨席を賜りましたことに心から厚く御礼申し上げます。

また、今日、卒業生が夢と希望を胸に、新しい旅立ちができますのも、皆様方の温かいご指導とご支援の賜と、あらためて、敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんは、本校のすべての課程を修了し、本日ここに、卒業証書を手に入れました。皆さんにとって卒業までの日々は並大抵のものではなかったと思います。入学時の不安・仕事と勉学の両立・職場や学校での人間関係・就労後の通学の苦勞 等々、様々な困難を乗り越え、たどり着いたこの日は感慨も一入（ひとしお）のことと思います。

今、皆さんの胸の中には、在学中の思い出が走馬燈のように去来し、多くの楽しかったことや苦しかった出来事が、よみがえっているのではないのでしょうか。

その一つひとつが、これからの皆さんの長い人生を支え、照らしてくれることでしょう。

今、皆さんを送るにあたって平素考えていることの一部を述べ、鼻向けとします。

それは皆さんもよく知っている「温故知新 おんこちしん 故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る」です。今から約2500年もの昔、中国の孔子が弟子に「先生としての心構え」を尋ねられたときの回答が「温故而知新。可以為師矣」：故（ふる）きを温（たず）ねて新（あた）しきを知（し）れば、以（もつ）て師（し）為（た）る可（べ）し。 なのです。昔のことがらをよく研究してそれに熟知し、また最新の知見をも得なければならぬ、というのがその意味のようです。つまり「温故（おんこ）：ふるきをたずねる」のみで、「知新（ちしん）：新しきを知る」新しい知識を持っていなければ先生にはなれないと言うのです。先生とは言葉通りの先生だけではなくこれからの時代を生きる全ての人々と考えて下さい。

そこで私は卒業してゆく皆さんに、温故とは「これまでのように教えられて学んできた基礎基本の知識」であり、知新とは「自ら積極的に学ぶ新しい知識や情報の活用能力」と解釈して、私の思いを伝えます。

これからの時代に必要なこと、それはコンプライアンスです。

時代は大きく変わっています。現代は200年に一度の大変革期だと言われるほどに大きな変化を遂げています。200年前と言えば、イギリスで産業革命が起きた時期です。工業生産方式が飛躍的に効率化され、農耕社会から工業化社会に向けて世界中が動き出した時です。

そして現代は200年前にできあがった工業化社会から、情報化社会へと大きく変わろうとしています。情報伝達の早さは、国境という垣根を取り払い、世の中のあらゆる面において、境のないボーダレス社会が進みました。そして、すべてのことがらが地球規模でとらえねばならないグローバル社会になりました。二十一世紀はそういう時代です。

グローバル化・ボーダレス化・IT化によって作られた社会の秩序を維持するルールが、コンプライアンス と言う概念です。日本語に直訳すれば「法令遵守」と言うことになるのですが、それだけではありません。たとえ法に触れないことでも、してはいけないことをはっきりとわきまえて行動する＝それがコンプライアンスです。モラルの延長線上にコンプライアンスはありますが、英語をそのまま使っているように、世界共通の概念です。

二十一世紀を生きる皆さんには、間違ったことに対しては毅然として「ノー」と言える勇気ある人になるべく、常に何が正しいかを考えて行動し、コンプライアンスを身につけていただきたいと思います。

次に、保護者の皆様一言申し上げます。お子様には長年（ながねん）の努力が実り、本日、ご卒業を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。私どもは、三カ年又は四カ年にわたり、大切なお子様をお預かりしてまいりましたが、微力さゆえに、至らぬ点や、ご期待に添えない面も多々あったことと存じます。

しかし、私どもは今日まで、全職員で生徒たちの教育に取り組んで参りました。

また、この間、学校の教育方針をご理解いただき、本校発展のためにご協力を賜りましたこと、この場を借りまして、厚くお礼申し上げます。 本当に有り難うございました。

最後になりましたが、ご来賓の皆様、本日は、ご多忙の中、ご臨席を賜り、誠に有り難うございました。

どうか、今日、ここに卒業していきます前途有望な若者たちをこれからも温かく見守り、励ましていただきますようお願い申し上げます。

さあ、卒業生の皆さん、本校の卒業生であるという自信と誇りを持って旅立ってください。名残は尽きませんが、皆さんの洋々たる前途を祝し、ご多幸をお祈りし、大いなる活躍を心から願って式辞といたします。

平成二十三年三月一日

兵庫県立北条高等学校長

西 幹 博

